

血液浄化部会 ラウンドテーブルディスカッション

『質の高い血液浄化の実現に向けて』

日本赤十字社和歌山医療センター 医療技術部 臨床工学技術課 前田充徳

質の高い血液浄化を実現するためには、様々な方法がありそれぞれの職種が専門知識を持ち寄り切磋琢磨し、高めていくことが出来ると言えます。

我々の職域で考えた場合、清浄度の高い透析液の提供は、もはや必須であると言っても過言ではないかと思えます。また、中大分子量の物質が除去可能なオンライン HDF、低侵襲な血液透析・透析モニタリング、透析回数を増やすことが可能な在宅血液透析など、患者の病態に応じて条件を選択するテーラーメイドな血液浄化を提案していくことが責務であると思えます。

今回のシンポジウムでは、各分野で御活躍されています先生方にご意見をお聞きしながら、どのようにすれば質の高い血液浄化を実現出来るのか議論していきたいと思えます。